

研 究 テ ー マ	介護保険制度に向けての訪問看護ステーションの取り組みに関する実態調査
研 究 目 的	訪問看護ステーションの介護保険に向けての準備状況、特化すべき事業内容等を調査することにより、ステーションの取り組み状況を明らかにし今後の参考とすることを目的とした
研 究 方 法	平成 11 年以前に開設した訪問看護ステーションをランダム抽出し、調査票を送付し郵送での回収を行った
結 果 及 び 考 察	<p>以下に、結果、考察が示された</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 介護保険開始にあたって、第 1 に準備していることは居宅介護支援事業であった 2) 訪問看護とケアマネジメントには密接な関係があり居宅介護支援事業は訪問看護ステーションのあり方を考える際の重要なファクターになる 3) 複雑化・増大化する事務業務の電算化や事務職員の有効活用が今後の鍵になる 4) 今後戦略として他の居宅介護サービス事業や特化した戦略を考えている訪問看護ステーションも多く、今後は訪問看護ステーションの多様化が進む 5) 看護の質を保障しながら経営の安定化をはかるかが大きな課題である
研 究 助 成 金 名	平成11年度 厚生省老人保健事業推進費等補助金事業